



汚染企業 300 社：10 月末までに北京から移転を 窯業等 12 業界

新浪财经网 finance.sina.com.cn 2014-05-18 02:39 新京报

汚染企業 300 社は 10 月末までに北京から移転を

2 か月前：北京市は、今年重点的に建築用セラミックスや石材等、12 の汚染業界工業の調整・排除に向けて動き出していた。

新京報電（記者林野）北京市は、既に石灰や石材建築用セラミックス、鑄造、鍛造、印刷業等 12 種類の工業汚染業界の今年中に重点排除することを確定。

昨日、北京市経済・情報化委員会（宮本注：以下略して経信委）情報によれば、北京市が元々年内に 300 の汚染企業を排除するという目標を定めていたが、本年 10 月末までに実現されるようだ。経信委の張伯旭主任は、北京市を排除される汚染企業は、全てこの汚染を外地に持ち出してはならないと語った。

『三高』企業の移転を促す方法が明らかに

張伯旭主任は、前日舉行された北京市汚染企業の移転調整工作座談会の席上、現在、北京は汚染企業の移転調整に向けてのパワーを増大しており、元々今年の年末までに汚染企業 300 社の移転を計画していたが、10 月末までに完了することに前倒し調整したと語った。この目標に向けて、北京市は、これまで定期的に工業界の調整や生産技術及び設備の移転指導ディレクトリーを定期的に公布しており、ディレクトリーに掲載された企業に対しては、関連部門は生産能力の拡大を認めず、新たな信用供与をせず、生産許可証の切り替え許可もしていないとしている。規定に満たずに移転淘汰或いは閉鎖命令された企業には、期限を切って工業商業登記が抹消される。

この他、法執行パワーをあげるために、法規違反や排出基準を上回った企業を厳重に調査したうえで処罰し、是正効果のないものに対しては法に基づき強制的に閉鎖移転させている。同時に、北京市は厳格な業界の排出基準を制定するために、新たな汚染排出費を実施し、汚染企業の排出費用徴収を強化している。汚染業界と汚染企業の電気代の差別化、懲罰性電気代、水料金の差別化を実施して、汚染企業の生産運営コストを増大させて、汚染企業の移転を加速するようにしている。

情報によると、北京市政府は最近『工業汚染企業の移転調整症例資金管理弁法』を批准通過させ、『三高（汚染、エネルギー消費、水の消費が高い）』企業の移転のプロセスを簡略化し、奨励支援を向上させて企業が積極的に移転するように調整する。この弁法は、間もなく発布実施されることになる。

移転企業には『汚染』の外持ち出しを禁止

張伯旭主任は、『北京市から移転する汚染企業は、決して汚染を外地に持ち出してはならない』と語る。情報によれば、これらの企業は産業向上や製品構成調整の基礎に立ち、周辺都市と協力及び結合している。現在、北京市の汚染工場は既に河北省固安や天津宝坻、内モンゴルウランチャブ等の周辺都市に産業結合している。

2013 年全市の移転調整を受けている環境汚染企業数は 288 社あり、建築用の焼結煉瓦生産ラインを全て停止し、金隈順発セメント工場や平谷セメント工場を生産停止し、セメントの生産能力 150 万トンを減少させた。

データを見ると、産業構造の調整と環境エンジニアリングを通じて、2013 年の北京市の工業二酸化硫黄や煤塵、窒素酸化物がそれぞれ前年と比して 7,000 トン、4,000 トン、13,000 トン減少していた。

最近、央企北京新興際華集団（2.49, 0.00, 0.00%）に属する豊台の凌雲建材化工有限公司が邯鄲市武安に移転したが、これは同時に北京市初の域外移転企業となった。

移転リスト整理統合

移転企業の整理統合：煉瓦、石灰、石材、瀝青防水シート、建築セラミックス、プレートガラス、鑄造、鍛造、電気メッキ、家具、塗料、印刷等 12 の環境汚染業界

移転方式の整理統合：主に汚染生産設備の排除や汚染産出プロセスの生産停止、工商営業許可証の変更、営業許可の取り消し、市外への移転等の方式による

移転目的の整理統合：企業をして二度と逆行した生産能力を持たせないこと

<http://finance.sina.com.cn/china/dfjj/20140518/023919142360.shtml>

300 污染企业 10 月底前离京 重点退出陶瓷等 12 行业

新浪财经网

finance.sina.com.cn

2014-05-18

14:11

新京报

300 污染企业 10 月底前离京

提前两个月；北京今年重点调整退出建筑陶瓷、石材等 12 个工业污染行业

新京报讯（记者林野）北京市已确定今年重点调整退出石灰、石材、建筑陶瓷、铸造、锻造、印染等 12 个工业污染行业。

昨天北京市经信委消息，北京市原定于今年年内实现调整退出 300 家污染企业的目标，将提前在今年 10 月底前实现。经信委主任张伯旭表示，所有北京市调整退出的污染企业，绝不能带着污染迁到外地。

出台办法鼓励“三高”企业调整退出

张伯旭在前日举行的全市污染企业调整退出工作座谈会上表示，目前，北京已经加大污染企业调整退出力度，原计划今年年底完成调整退出 300 家污染企业，已将调至 10 月底完成。为提前完成目标，北京市将定期公布工业行业调整、生产工艺和设备退出指导目录，对目录范围内的企业，相关部门不予审批扩大产能项目，不得提供新增授信支持，不再换发生产许可证等。对未按规定淘汰退出、被责令关闭的企业，限期办理工商注销登记。

此外，还将加大执法力度，严厉查处违法、违规、超标排放的污染企业，对整治无效的依法依规强制关停退出。同时，北京市将制定更为严格的行业排放标准，执行新的排污费收费标准，加大对污染企业排污费征收力度。执行污染行业和污染企业差别电价、惩罚性电价、差别水价，提高污染企业的生产运营成本，推动污染企业加快调整退出。

另据了解，北京市政府近日批准通过了《工业污染企业调整退出奖励资金管理办法》，简化了原“三高”（高污染、高耗能、高耗水）企业退出的程序，加大了奖励支持力度，调动企业调整退出的积极性。该办法近期将联合发布实施。

外迁企业禁止“携污”去外地

张伯旭表示：“所有北京市调整退出的污染企业，绝不能带着污染迁到外地。”

据介绍，这些企业将在产业升级、产品结构调整的基础上与周边城市进行合作和对接。目前，本市工业企业已在河北固安、天津宝坻、内蒙古乌兰察布等多个周边城市展开了产业对接。

2013 年全市调整退出工业污染企业 288 家，关停全部建筑渣土烧结砖生产线，金隅顺发水泥厂、平谷水泥厂实现停产，减少水泥产能 150 万吨。

数据显示，通过产业结构调整和环保工程治理，2013 年北京市工业二氧化硫、烟粉尘、氮氧化物分别比上年减少 7000 吨、4000 吨和 13000 吨。

近日，央企北京新兴际华集团(2.49, 0.00, 0.00%)下属子公司位于丰台的北京凌云建材化工有限公司正式落户邯郸武安，这也是北京首个外迁的央企企业。

调整退出清单

调整退出企业：砖瓦、石灰、石材、沥青防水卷材、建筑陶瓷、平板玻璃、铸造、锻造、电镀、家具、涂料、印染 12 个工业污染行业

调整退出方式：主要通过拆除污染生产设备、对主要污染生产环节进行停产、变更工商营业执照、注销营业执照、迁出本市等方式

调整退出目的：使企业不再具备落后产能生产的能力

(原标题：300 污染企业 10 月底前离京)